（制御系ソフトウェア開発（通信・ネットワーク・IoT関連）のサンプル）

職 務 経 歴 書

20xx年xx月xx日現在

氏名　○○ ○○

■職務要約

株式会社○○○○○に入社後、約x年間制御系ソフトウェアの開発に従事し、主に仕様検討から開発、テストなどの一連の流れを担当しています。オーディオプレーヤーや顔認証、タッチパネルなどの製品開発に携わり、20xx年のプロジェクトではx名規模のリーダーにも任命されマネジメント経験を積んできました。マネジメントを行いながらも、顧客折衝まで担当し、プロジェクトを円滑に進行させ自社に貢献しています。

■活かせる経験・知識・技術

・C言語を使用したプログラミング

・顔認証システムの開発

・約x名規模のリーダー経験

・電気、電子回路の知識

■職務経歴

|  |
| --- |
| 20xx年xx月～現在　　株式会社○○○○○ |
| 事業内容：制御系ソフトウェア開発事業資本金：x千万円（20xx年xx月）　売上高：x億x千万円（20xx年xx月）従業員数：xxx人　上場：未上場 | 正社員として勤務 |
| 20xx年xx月～現在　／　オーディオプレーヤーのソフトウェア開発 | 開発環境 | 規模 |
| 【プロジェクト概要】デジタルオーディオプレーヤーのソフトウェア開発にリーダーとして参加。【担当フェーズ】仕様検討、設計、開発、実装、テスト【業務内容】・顧客折衝を実施・スケジュール、進捗管理・基本設計から実装まで一貫して担当・省電力制御のカスタマイズを実施【実績・取り組み】・テストを複数実施し、省電力化を実現することにより電池寿命を以前のバージョンからxx％向上させることに成功。 | 【言語】Cアセンブラ【OS】LinuxWindows | 全xx名リーダー |
| 20xx年xx月～20xx年xx月　／　顔認証入退室管理システムの開発 | 開発環境 | 規模 |
| 【プロジェクト概要】顔認証によるドア制御システムの開発にメンバーとして参加。【担当フェーズ】仕様検討、設計、開発、テスト、運用保守【業務内容】・顧客へのヒアリングと仕様設計を実施・ドア制御システムの開発・顔認証制御システムをセキュリティカメラのシステムに導入・導入後のテスト、保守【実績・取り組み】・顧客へのヒアリングをもとに仕様を設計。結果としてICカードの貸し出しを完全に削減するこがき、セキュリティ維持コストをxx％削減することに貢献しました。 | 【言語】Cアセンブラ【OS】LinuxWindows | 全xx名メンバー |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 ／ タッチパネル付きディスプレイのHMI装置を開発 | 開発環境 | 規模 |
| 【プロジェクト概要】マイコンを使用したタッチパネル付きディスプレイのHMI装置開発に、メンバーとして参加。【担当フェーズ】調査、設計、開発、テスト、運用保守【業務内容】・タッチパネル制御機の開発・LCD表示制御機の開発・HMI画面制御【実績・取り組み】・タスク整理と自分の作業工数を把握し、スケジュール管理を徹底することで、遅延することなく納品ができました。 | 【言語】C【OS】Windows | 全xx名メンバー |

■テクニカルスキル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種類 | 使用期間 | レベル |
| OS | Windows | x年xカ月 | 環境設計・構築が可能 |
| Linux | x年xカ月 | 環境設計・構築が可能 |
| 言語 | C | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| アセンブラ | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| DB | SQL Server | x年xカ月 | 基本的な環境構築が可能 |
| Oracle | x年xカ月 | 基本的な環境構築が可能 |
| フレームワーク | Spring Framework | x年xカ月 | 基本的な環境構築が可能 |

■資格

|  |  |
| --- | --- |
| 普通自動車第一種運転免許 | 20xx年xx月取得 |
| 基本情報技術者試験 | 20xx年xx月合格 |
| 応用情報技術者試験 | 20xx年xx月合格 |

■自己PR

＜顧客との折衝力＞

通常は営業のみで顧客との打ち合わせを行うところを、エンジニアとして積極的に同行し、システムを説明。エンジニアが同席することで、初期段階で仕様設計を擦り合わせることができています。また、専門用語を避けて顧客が理解できるように努めると同時に、顧客にその場で各仕様のメリット・デメリットを提示。一方的に提案するのではなく顧客が複数の選択肢から決断できるため、納得感のある決断をしていただくことができ、その仕様に合った金額感や納期にも納得してもらいやすく、スピーディにプロジェクトを進めることに貢献しています。

＜プロジェクトを円滑に進めるマネジメント力＞

プロジェクトリーダーとして、顧客の経営者と打ち合わせを重ね、現状の課題を洗い出し、改善すべき点の認識を共有。課題発見のために、顧客ビジネスの理解を深めることにも注力し、顧客にとって最適なシステムを構築しています。また、最適なシステム構築のために、メンバーやスケジュールの管理も徹底し、各メンバーが得意分野で力を発揮できるように人員を配置し、納期遅延が起こりそうなタスクをいち早く把握しフォローに入るなど、トラブルも回避。結果として、期日どおりに顧客に満足していただけるシステムを構築することができています。

以上